

(事例) 畑地区急傾斜地崩壊対策事業

効果発現日：令和7年8月10日
 降雨状況：連続雨量 435mm (8月 9日～12日)
 時間最大雨量 57mm (8月10日)
 ※八幡雨量観測所
 ふくおかけん きたきゅうしゅうし もじく はた
 発生箇所：福岡県北九州市門司区畑
 状況：平成21年7月24日の大雨により斜面の崩壊が発生、急傾斜地崩壊対策事業で対策。
 令和7年8月10日に平成21年と同等の雨が降ったが、法面对策により、人家被害「ゼロ」と効果を発揮した。

斜面崩壊状況 (H21年7月)

災害発生日：平成21年7月24日
 降雨状況：連測雨量 334mm (7月24日～26日)
 時間最大雨量 48mm (7月24日)
 ※八幡雨量観測所

斜面崩壊状況→

斜面崩壊応急対策状況

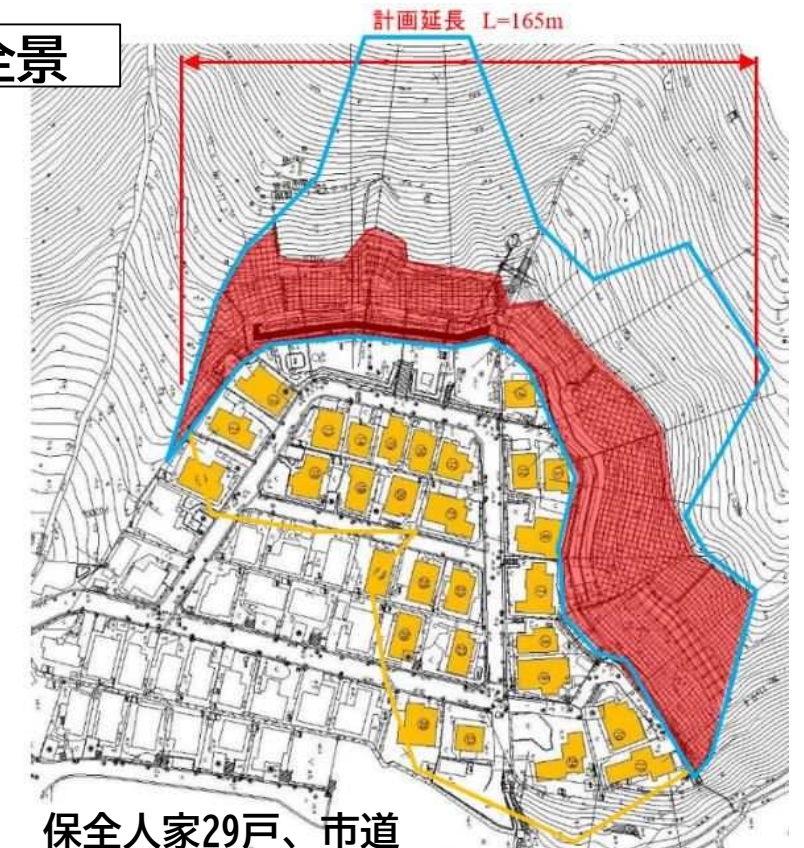


この状況のままだと人家に被害の恐れがある

位置図



全景



事業完成後 (R4年3月)



対策事業完了後の大雨において
人家被害「ゼロ」